

# 特別委員会の最終・中間報告(要旨)

今臨時会で、公共財産調査特別委員会は、調査を終了し最終報告を行いました。

また、交通網・都市基盤整備調査特別委員会及び子ども施策調査特別委員会が中間報告を行いました。

## 公共財産調査特別委員会

本特別委員会は、「区有財産の有効活用」「区における国・都府有財産等の利活用」等に関する調査研究を進めてきました。

## 区有財産の有効活用について

基本構想等の行政計画における目標の実現に向けて、活用を図っていく必要があります。特に近年では、子育て支援施策や高齢者サービス等の区民ニーズが増加していることから、将来的な行政需要に的確に対応できるような活用計画を検討すべきです。交通網整備や大型開発・大学の開学等の影響による人口推計等も勘案して、区有施設を効率的・計画的に配置し、取り組んでいかなければなりません。

### 用語解説

**ファイリテイマネジメント**  
個々の施設における情報を整理・把握し、最も合理的かつ効率的に管理し、運用する手法。

**アセットマネジメント**  
施設の老朽度合い、利用実績、各種経費等をデータベース化し、将来の経費予測、再配置シミュレーション、財政計画との比較検討等を可能とすることで、保有資産全体の経営管理をする手法。

せん。合わせて、区内の国・都府有財産についても、国や都と連携を強め有効活用を図ることが不可欠です。

## 未利用財産の利活用について

現在、区と土地開発公社では、低未利用の土地を少なからず保有しています。活用や処分にあたっては慎重な判断が必要ですが、当面活用の見込みがない場合には、暫定利用や貸付により積極的に活用の促進を図っていくべきです。法改正で行政財産の貸付可能範囲が拡大したことからも、区民との協働や民間活力等、様々な手法や情報を取り入れ、維持管理費用の縮減や新たな財源確保につながる効果的な活用に取り組むことが重要で

す。未利用が長期に渡る土地は、経緯や区民要望等を踏まえて問題解決に努め、早期に活用方針を明確にしていくべきです。

## 今後取り組むべき課題について

ファイリテイマネジメントの推進及びアセットマネジメントの構築が挙げられます。施設の長寿命化や維持補修費等の縮減のために、計画的な保全、財産情報の適切な収集と分析が求められます。平成23年度整備予定の保全情報システムでは、円滑に財産情報を確認し、安定稼働に心掛けるよう要望します。具体的な方針と取り組みを定めていく体制の整備も重要です。庁内で横断的な連携を取り、区の実施方針を示し、適切に進行

管理を行うことが必要です。最後に、国・都府有財産等を含めた区内の公共財産を的確に把握し、効率的な利活用と最適な維持保全に努めながら、施策に取り組みすることを強く要望し、本特別委員会の報告とします。

## 交通網都市基盤整備調査特別委員会

本特別委員会は、交通網の整備及び誘致促進並びに都市基盤整備に関する調査研究を進めてきました。

## 区内鉄道路線の高架化について

竹ノ塚駅付近鉄道路線高架化について、都市計画案及び環境影響評価書案の説明会が開催される等、平成22年度中の都市計画決定に向けた手続きが進められています。平成23年度事業着手を目指し、用地買収等事業実施に係る諸問題について地域住民の理解を得られるよう努力していくとともに、国、都、鉄道事業者と連携し、積極的に鉄道高架化に取り組む必要があります。

## バス路線網再編及びコミュニティバスの整備促進について

民営バスの新規路線開設、はるかぜのバス追加等が行われましたが、他にも交通便利性向上を求めた多くの要望路線があります。

## バス路線網の整備を進めていく

必要があります。最後に、国・都府有財産等を含めた区内の公共財産を的確に把握し、効率的な利活用と最適な維持保全に努めながら、施策に取り組みすることを強く要望し、本特別委員会の報告とします。

## 都市基盤整備の促進について

今年1月、北千住駅東口周辺地区、千住大橋駅周辺地区の現地視察を実施し、整備進捗状況及び今後の見通しについて調査研究を行いました。

## 北千住駅東口周辺地区では、

平成24年の東京電機大学開学に向け、住民や関係機関との一層緊密な協議のもと、区が主体的かつ先導的な役割を果たすこと

## 必要があります。

また、東京未来大学のキャンパス拡張候補地として、区、開発事業者と協議に入る等、整備計画の進捗状況を見守っていく必要があります。

## 鉄道及びバス路線網の誘致、

拡充と、竹ノ塚駅付近鉄道路線高架化の早期実現に向けた活動を推進しつつ、都市基盤の整備・充実に向け、引き続き調査研究を続けていく必要があります。

## 子ども施策調査特別委員会



本会議の様子

また、認可保育所の最低基準等に関する陳情2件についても審査を行いました。

## 待機児童対策について

待機児童の約9割が3歳未満児である等、0歳児から2歳児の定員確保が大きな課題です。引き続き、認可保育園等の整備等を推進していくとともに、延長保育等、区民の生活形態に応じた様々な保育サービスの拡充も必要不可欠です。

## 子育て支援の環境整備について

地域コミュニティの希薄化等により、子育て中の親子が不安や悩みを抱え込んで孤立してしまう例が見受けられます。児童虐待等の深刻な事態に至る事例もあるため、子育てサロン等、保護者同士が子育ての楽しさや大変さを共感できる場や機会を提供することが重要です。

## 子ども支援について

また、子育てに関する資源の有効活用を図るという点で、幼稚園との連携や認定こども園の整備も重要な課題です。

## 子ども支援について

さらに、新たな保育場所の確保に向けて、空き店舗・空き教室等の活用についても、今後の検討を要します。

## 子ども支援について

千住大橋駅周辺地区では、住宅、街路、交通広場、街区公園の整備及び緑化推進等を行い、防災性、居住環境の向上やまち

## 子ども支援について

足立区の未来を担う子どもたちが健やかに生まれ育つ環境を整備されるよう、今後も引き続き調査研究を進めていく必要があります。

## 子ども支援について

また、各会派役員の変更もあり、これに伴い、広報委員会も次のとおり構成となりました。

## 編・集・後・記

5月31日の臨時会では、議長・副議長の選出をはじめ、各委員会委員等の議会構成が変わりました。

## 会派役員紹介

**足立区議会新会派の結成**  
新会派「足立区議会民主党・無所属」が5月12日に結成されました。

**会派役員紹介**  
足立区議会自由民主党  
幹事長 しのはら守宏  
副幹事長 藤沼 壮次  
同 金田 正

足立区議会公明党  
幹事長 たきがみ 明  
副幹事長 洲上 隆  
同 たがた 直昭

日本共産党足立区議団  
同 長井まさのり

同 鈴木けんいち  
団 長 鈴木けんいち  
幹事長 ぬかが 和子  
副幹事長 伊藤 和彦

足立区議会民主党・無所属  
幹事長 米山 やすし  
副幹事長 秋山ひでとし  
同 工藤 哲也  
同 へんみ 圭二

議長 古性 重則  
(副) 議長 前野 和男  
(議会運営委員長) 鈴木 進  
しのはら守宏 鈴木けんいち  
藤沼 壮次 ぬかが 和子  
金田 正 伊藤 和彦  
たきがみ 明 米山 やすし  
洲上 隆 秋山ひでとし  
たがた 直昭 へんみ 圭二